

Intense3D Wildcat 4210 PRO

ユーザーズガイド

2000年4月

DH001000

INTENSE3D

著作権

©2000 年 Intergraph Computer Systems. All rights reserved. 本書に含まれる情報は、著作権、企業秘密、および商標権で保護されています。Intergraph Computer Systems の文書による合意なしに、本書の一部または全体を一切の形式、一切の手段によって複製すること、また一切の派生物の作成に使用することは固く禁じられています。

アメリカ合衆国政府による使用、複製、または開示は、DFARS 252.227-7013 の「技術データおよびコンピュータソフトウェア条項における権利」の細別(c)(1)(ii)にある制限条項に準拠します。未公表の権利は、アメリカ合衆国著作権法の下に保留されています。

Intergraph Computer Systems, Huntsville AL 35894-0001

注記

本書に含まれる情報は、予告無しに変更され得るものであり、Intergraph Computer Systems による公約として見なされるものではありません。Intergraph Computer Systems は、本書中の技術的または文書的な誤り、および記載漏れに対しては一切責任を負いません。Intergraph 社は、本書の提供または使用から生じる付随的、派生的損害に対して一切責任を負いません。

装置及びソフトウェアに関する Intergraph Corporation が提供する保証は購入契約に記されています。明示的、暗黙的に関わらず、本書に記されている内容は一切、その保証の変更や修正を促すものではありません。

商標

Intergraph Corporation、Intergraph Corporation のロゴ、Intense3D、及び Wildcat は Intergraph Corporation の登録商標です。SuperScene 及び DirectBurst は Intergraph Corporation の商標です。Microsoft、Microsoft のロゴ、Windows、及び Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。Intel 及び Pentium は Intel Corporation の登録商標です。OpenGL は、Silicon Graphics, Inc の登録商標です。

その他のブランドおよび製品名は、それぞれの所有者の商標です。

FCC/DOC 準拠

この装置は、テストの結果、FCC 規則のパート 15 に準拠するクラス A デジタル装置に対する規制範囲内に適合することが分かっています。これらの規制は、装置が商業環境で運用される際、有害な電波干渉に対する妥当な保護を提供するために立案されました。この装置は、電波周波エネルギーを生成・使用し、またこれを放射することがあります。この装置が、使用説明書に従ってインストール・使用されていない場合は、電波通信に有害な干渉を起こす恐れがあります。

クラス A デジタル装置は、カナダの Interference-Causing Equipment Regulations (電波干渉発生装置に関する規制) で問われるすべての要求を満たしています。Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

警告

システムに対して、安全規制の関係当局が承認していない変更または修正を行った場合、この装置を運用するユーザーの権限が無効になることがあります。

電流による事故を防ぐために、指示されていない限りこの装置を開かないでください。指示された目的以外でツールを使用しないでください。

このカードには一般ユーザーが修繕できる部品はありません。全ての修繕は資格のある技術者に依頼してください。

FCC Class B 規則により、この装置に対してはシールドケーブルを使用しなくてはなりません。

目次

序文	iii
本書について	iii
文書の規則	iii
オペレーティングシステムの情報	iv
ハードウェアの情報	iv
カスタマーサポート	iv
World Wide Web	iv
1 はじめに	1
機能	1
外部コネクタ	6
2 セットアップ	7
インストールの準備	7
コンピュータが準備完了であることを確認	7
資材とツールの収集	8
帯電防止対策	8
ビデオカードのインストール	9
ディスプレイの接続	11
ソフトウェアのインストール	14
コンピュータが準備完了であるかを確認	14
デフォルトのビデオ表示ドライバであることを確認	18
システムスタートアップバージョンを確認	19
ステレオ表示装置の接続	20
3 ビデオカードの使用	21
ビデオ表示の構成	21
[Intense3D の構成] タブ	21
[Intense3D ディスプレイ] タブ	23
ステレオ表示を使用可能にする	26
マルチビューと GenLock を使用可能にする	26
Windows 2000 で多重ディスプレイ機能を使用可能にする	30
4 トラブルシューティング	33
良くある問題点とその解決法	33
表示の問題	33
診断ユーティリティ	34
使用可能な解像度の取得	35
欠陥のある部分の特定	35
ビデオドライバの再インストール	37
ヘルプを取得する	39
付録 A 仕様	41

付録 B コネクタ	45
プライマリとセコンダリ DVI-I.....	46
Genlock In.....	46
ステレオ同期出力.....	46
マルチビュー入力 とマルチビュー出力.....	47
索引	49

序文

*Intense3D Wildcat 4210 ユーザーズガイド*には、*the Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードのセットアップと使用に関する情報、及びトラブルシューティング情報、付属のコネクタ、カードの仕様*が記載されています。

このビデオカードをシステムの一部としてお買い上げの場合は、システム出荷前に、正しく動作するビデオカードがシステムにインストール及び構成されています。本書は、独自の表示パラメータの設定、カードをアップグレードまたはアドオンとして購入した際のビデオドライバとハードウェアのインストール方法について説明しています。

本書について

*Intense3D Wildcat 4210 ユーザーズガイド*は下記のように構成されています：

- ◆ 1章「はじめに」 - Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードの概要、機能の一覧、及び外部コネクタの概要について説明します。
- ◆ 2章「セットアップ」 - ビデオカードと関連ソフトウェアのインストール手順、ディスプレイとステレオ表示装置野接続方法について説明します。
- ◆ 3章「ビデオカードの使用」 - ビデオ表示の構成方法とステレオ表示を使用可能にする方法について説明します。
- ◆ 4章「トラブルシューティング」 - 良くある問題点とその解決法、使用可能な解像度の取得方法、ビデオドライバの再インストール方法、ヘルプの取得方法について説明します。
- ◆ 付録 A「仕様」 - Wildcat 4210 ビデオカードの全般情報、機能情報、及びパフォーマンス仕様、及び解像度の一覧、カードのサイズ、電源必要条件について説明します。
- ◆ 付録 B「コネクタ」 - Wildcat 4210 のポートとコネクタについて説明します。

文書の規則

太字	キー入力するコマンド、語句、及び文字
<i>Italic</i>	提供する変数値、またはクロスリファレンス
大文字英語	D、ALT、F3 などキーボードのキー名、ファイル名、及びディレクトリ名。ファイル名とディレクトリ名をダイアログボックスまたはコマンド行で入力する際は、特に指示されていない限り、小文字でも構いません。
CTRL+D	複数のキーを同時に押すことを示します、たとえば、CTRL+D の場合は、CTRL キーと D キーを同時に押すことを示しています。

オペレーティングシステムの情報

Microsoft Windows NT 4.0 サービスパック 4 以上または Windows 2000 がインストールされている必要があります。Wildcat 4210 ビデオカードをシステムの一部として購入した場合は、出荷前にコンピュータに適切なオペレーティングシステムがインストールされています。

オペレーティングシステムに関する詳細は、システムに備わっている説明書またはオンラインヘルプを参照してください。

ハードウェアの情報

コンピュータに関する詳細は、システムに備わっている説明書を参照してください。

カスタマーサポート

サポートに関する情報はシステムの供給先にお問い合わせください。

World Wide Web

Intense3D news と製品情報に関する最新情報は次の Web サイトをお訪ねください。

<http://www.intense3d.com>.

1 はじめに

Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードをお買い上げありがとうございます！ Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードを選択されたことにより、お使いのコンピュータやワークステーションに、強力なプロフェッショナルな 3D グラフィックス機能が備わりました。Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードは、Microsoft® Windows NT®または Windows 2000 オペレーティングシステムを動作する Intel® Pentium II®以上のコンピュータに、ワークステーションクラスの 3D グラフィックス機能とパフォーマンスを注入します。

注： Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードをシステムの一部としてお買い上げの場合は、システム出荷前に、正しく動作するビデオカードがシステムに構成されていますので、それ以上の構成は必要ありません。また、ビデオカードもインストールされていて、そのまま正しく操作できるようになっています。したがって、Wildcat 4210 をアドオンまたはアップグレードとして購入なさった場合以外は、インストールや構成を行う必要はありません。ドライバの入った CD/ディスクは、ドライバを再インストールする必要がある場合に備えて、安全な場所に保管しておいてください。

機能

カードインターフェイス	AGP Pro110 スロットを備えたシステム用 AGP Pro110 カード 注： Intense3D Wildcat 4210 は標準 AGP スロットに挿入することはできません。
ビデオメモリ	フレームバッファ: 128MB テクスチャバッファ: 128MB ダイレクトバースト: 32MB
グラフィックスコントローラ	多重ディスプレイをサポートした高速 Wildcat チップセット技術
RAMDAC	250MHz
プラグ & プレイのサポート	サポート
Accelerated 3D API	OpenGL

機能、（ 続き ）	
最大解像度 （ピクセル当たりのビット 数）;リフレッシュレート	<p>1920x1200; 16:10; 75 Hz</p> <p>注: サポートするリフレッシュレート、ディスプレイ解像度、アスペクト比、カラーデプスはお使いのディスプレイによって異なります。また、マルチサンプルが選択されているかどうかでも異なります。サポートしている解像度とリフレッシュレートは付録 A 「仕様」を参照してください。</p> <p>注: 望むリフレッシュレートで特定の解像度の表示を行うには、ビデオカードとディスプレイの両方がそれをサポートしている必要があります。お使いのディスプレイがサポートしているビデオ解像度の一覧は、ディスプレイに備わっている説明書を参照してください。</p>
電源管理サポート	<ul style="list-style-type: none"> ◆ DPMS (Display Power Management Signaling - 表示電源管理信号機能) ◆ ACPI (Advanced Configuration and Power Interface - 詳細構成と電源インターフェイス)
幾何形状アクセレレータ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 頂点と直角座標のモデルビューマトリックス変換 ◆ パースビューとビューポートの変換 ◆ テクスチャ座標のテクスチャマトリックス変換 ◆ ローカル表示リストの保管と処理 ◆ 光源計算 (24 光源まで可) ◆ ビュー体積クリップ機能 ◆ 最高 6 個のユーザークリップ面 ◆ 画像処理

機能、(続く)	
従来の 2 次元操作	<ul style="list-style-type: none">◆ 16 ビットと 32 ビットのカラーデプス(565, 8888)◆ ベタ塗りとパターンによる領域塗りつぶし◆ ベクタ(ダイヤモンド規則準拠)◆ ブロック移動(画面から画面へ)◆ ブロック取得(画面からシステムへ)◆ ブロック配置 (システムから画面へ)◆ 双線形スケーリング
OpenGL 操作	<ul style="list-style-type: none">◆ 複数書式、拡大/縮小、双線形尺度、カラーマトリックス、カラーテーブルの画像サポート◆ 霞み機能：1 次、指数、2 次、ユーザー定義◆ 2 次元/3 次元点、ベクタ、ポリゴン◆ テクスチャマッピング：点、双線形、3 線、複数内部書式◆ 24 ビットと 32 ビットのデプスバッファ機能◆ ディザ機能◆ 高速ウィンドウクリア機能◆ ウィンドウクリップ機能◆ 高速ウィンドウモードのダブルバッファ機能◆ マスク機能◆ フレームシーケンシャルと補間ステレオのサポート◆ ステンシル操作◆ マトリックス変換

機能、（続き）**OpenGL 拡張**

- ◆ 画像処理拡張：
 - ピクセルバッファ
 - カラーテーブル
 - カラーマトリックス
 - 回旋
- ◆ ブレンド処理拡張：
 - カラー
 - minmax
 - 機能分離
 - 差分
- ◆ 霞み機能拡張：
 - 霞み機能
 - 霞みオフセット
- ◆ テクスチャ機能拡張：
 - 3次元テクスチャ：辺、境界線、LOD クランプ
 - ミップマップ生成
- ◆ ビデオ拡張：
 - 補間機能
 - 補間読み取り
 - 422 ピクセル
- ◆ 拡張スワップ制御：
 - スワップ制御
 - スワップフレーム固定
 - スワップ統計
 - テクスチャ カラーテーブル

機能(続き)	
OpenGL 拡張 (続き)	<ul style="list-style-type: none">◆ ピクセルテクスチャと 4D テクスチャ機能◆ ステンシル操作ラップ◆ ポストテクスチャ反射
付加機能	<ul style="list-style-type: none">◆ SuperScene フルシーンマルチサンプルによるアンチエイリアス機能：<ul style="list-style-type: none">▪ 点に対して 8 つのサンプル▪ ロケーションジッターのサンプル▪ ダイナミックサンプル割り当て▪ ダイナミックサンプルバックオフ◆ 2 つのビデオ検索テーブル◆ 8 つのステンシル面◆ 8 つのダブルバッファオーバーレイ面◆ 32 ビットバッファ-◆ 表示装置を直接動かす高性能 DAC◆ DDC2B 表示データチャンネル標準◆ ヘッドマウントディスプレイとシャッターグラス (フレームシーケンシャルとインターレースステレオが必要)◆ ボード搭載のテクスチャメモリ (フルミップマップの 3 線補間テクスチャ処理)◆ デジタルビデオインターフェイス(DVI)-I フラットパネル表示のサポート

外部コネクタ

Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードには 6 つの標準外部コネクタが備わっています。(図 1 を参照) :

1. プライマリとセコンダリ DVI-I 出力ポート
2. Genlock 入力コネクタ
3. 3 ピン、MiniDIN ステレオ同期出力コネクタ
4. Multiview 入出力ポート

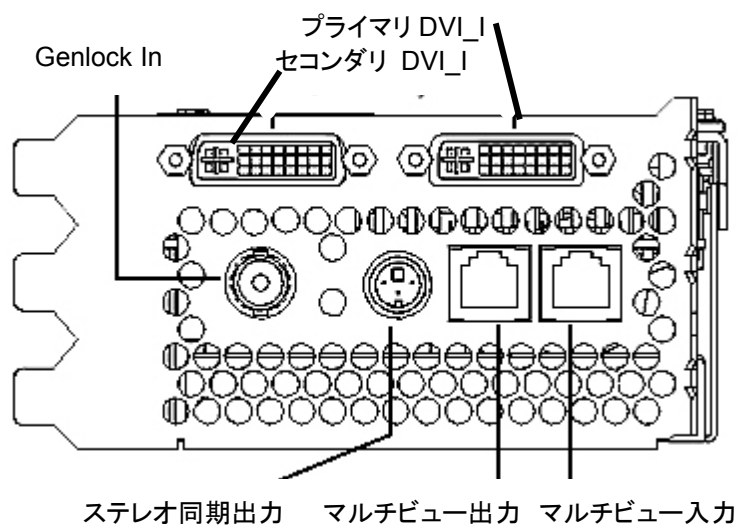


図 1. Wildcat 4210 の外部コネクタ

Intense3D Wildcat 4210 の各コネクタに関する詳細は付録 B「コネクタ」を参照してください。

2 セットアップ

この章では、ビデオカードと関連ソフトウェアのインストール及びディスプレイとステレオ表示装置の接続について、手順を追って説明します。

インストールの準備

注： Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードをシステムの一部としてお買い上げの場合は、システム出荷前に、正しく動作するビデオカードがシステムに構成されています。これ以降のハードウェアインストールに関する説明は、別途にキットを購入して、ビデオカードを再インストールする場合にのみ適用されます。

注： システムの開閉、AGPまたはAGP Pro 拡張スロット、及びPCI (Peripheral Component Interconnect - 周辺機器相互接続) 拡張スロットの認識、拡張カードの追加に関する説明はお使いのシステムの説明書を参照してください。

コンピュータが準備完了であることを確認

以下の必要事項がコンピュータに備わっているかを確認します。

- ◆ Pentium II®以上のプロセッサ
- ◆ Microsoft Windows NT 4.0 (サービスパック 4) 以上 または Windows 2000
- ◆ AGP Pro 110 または AGP Pro 拡張スロット

注： Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードは、標準 AGP スロットに挿入することはできません。

- ◆ 未使用の 2 つ PCI スロット (冷却目的のために AGP Pro 110 の隣に必要)
- ◆ 最小 32MB DRAM (64MB を推奨)
- ◆ 業界標準のマルチ周波数ディスプレイ(VGA)または Digital Video Interface (DVI) 対応のデジタル表示装置
- ◆ コンピュータの主要システムディスクに 3MB のディスク空き容量 (ビデオ表示ドライバソフトウェア用)

資材とツールの収集

必要な資材とツールは、以下のとおりです。

- ◆ Intense3D Wildcat 4210 ビデオカード
- ◆ Intense3D Wildcat 4210 ビデオ表示ドライバの入った配布メディア
- ◆ マイナス、またはプラスのねじ回し
- ◆ コンピュータまたはディスプレイに備わっているディスプレイ用ケーブル

注： 標準 VGA ディスプレイに Intense3D Wildcat 4210 を接続している場合は、ディスプレイケーブルとして 15 ピンの DVI-アナログアダプタが必要です。

- ◆ お使いのコンピュータの説明書
- ◆ 接地リストストラップ

帯電防止対策

静電気がコンピュータ内またはプリント回路盤上のコンポーネントを破損することがあります。静電気の帯電を最小限に押さえるために、次の事柄にしたがってください：

- ◆ コンピュータの電源を切ります。

注： システムから電源コードを物理的に取り外してから、15-30 秒待って残留電位を拡散します。インストール過程で、システムから物理的に電源が取り外されていない場合、アドインコンポーネントに破損が生じる恐れがあります。

- ◆ カードに触れる前に、コンピュータの金属シャーシに触れて静電気を放出します。
- ◆ カードを扱ったり、コンピュータの内部を作業する際に、正しく接続された接地リストストラップを着けます。
- ◆ ウールまたはポリエステル製の衣類を着ないようにします。
- ◆ 相対湿度が、少なくとも 50 パーセント以上ある場所で作業をします。

インストールの準備ができるまで、カードを静電気防止バッグから取り出さないようにします。

- ◆ カードの端を持ち、必要以上にカードに触れないようにします。

ビデオカードのインストール

システムの開閉、AGP Pro100 拡張スロット、及び PCI 拡張スロットの認識、拡張カードの追加に関する説明はお使いのシステムの説明書を参照してください。

Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードをインストールするには:

1. コンピュータとディスプレイの電源を切ります。システムから電源コードを物理的に取り外します。
2. コンピュータを開いて AGP Pro100 拡張スロットに手が届くようにします。
3. コンピュータに既存のグラフィックスアダプタがインストールされている場合は、それを取り外し、スロットカバーの止めネジを取っておきます。あとでコンピュータのシャーシに Intense3D Wildcat 4210 カードを固定するときに再び使用します。
4. Wildcat 4210 カードを AGP Pro100 拡張スロットと PCI スロットに隣接するスロットの 1 つに合わせます。カードの端にあるコネクタの金色の差込爪がスロットのコネクタに対してきちんとそろっていることを確認してください。(図 2 を参照: 差込爪は図の右側に示されています。)

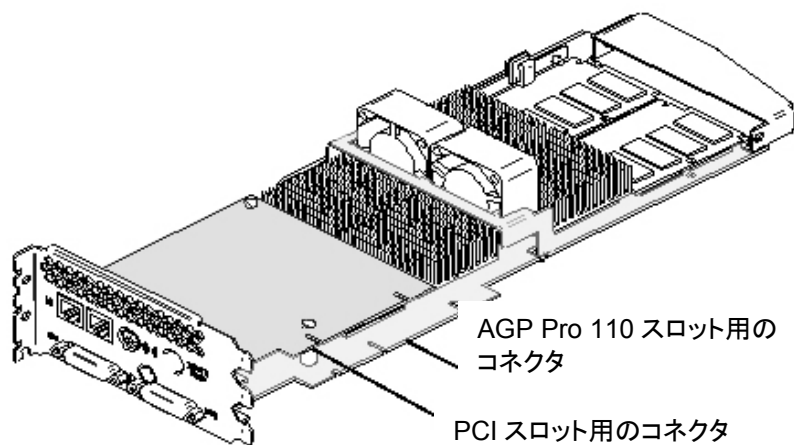


図 2. Wildcat 4210 ビデオカード

5. スロットにカードを真っ直ぐにしっかりと押し込み、差込爪をスロットコネクタに完全にはめ込みます。
6. 接続部分を目で確かめて、きちんと接続していないようでしたら、一旦カードを取り出して、はめ込み直します。
7. 前に取り外した止めネジを使って、カードをコンピュータのシャーシに固定します。

8. コンピュータを閉じ、電源コードを接続し直します。表示装置を Wildcat 4210 ビデオカードに接続する方法はこの章の「ディスプレイの接続」を参照してください。

ディスプレイの接続

Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードをシステムの一部としてお買い上げの場合は、システム出荷前に、正しく動作するビデオカードがシステムに構成されています。カードをご自分でインストールした場合はディスプレイを接続したあとで、ビデオドライバソフトウェアをインストールする必要があります。ソフトウェアのインストール方法は、この章の「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

ディスプレイを接続するには：

1. コンピュータの電源が切っていることを確認してください。
2. 必要な接続の種類についての情報はお使いのディスプレイの使用説明書を参照してください。ディスプレイの種類によって、Digital Video Interface (DVI)-I コネクタを備えているか、または 15 ピン VGA コネクタを備えているかはお使いのディスプレイの種類によって異なります。VGA コネクタを備えているディスプレイの場合は、DVI アナログアダプタが必要となります。

警告: Wildcat 4210 にディスプレイを 1 つだけ接続する場合は、ディスプレイを プライマリ DVI-I ポートに接続する必要があります (図 3 を参照)

注: マルチディスプレイは Windows 2000 でのみサポートしています。Intense3D Wildcat 4210 に追加のディスプレイを接続する場合は、追加のワークステーションのディスプレイのビデオケーブルはセカンダリ DVI-I ポートに接続します。多重ディスプレイの構成についての情報は「Windows 2000 における多重ディスプレイ機能を使用可能にする」を参照してください。

DVI ディスプレイを接続するには:

1. ワークステーションのビデオケーブルを Intense3D WildCat 4210 ビデオカードの DVI ポートに接続します。(図 3 を参照)
2. コンピュータの電源を入れます。LED がつかない、またはディスプレイがスタートアップシーケンスを表示しない場合は、4 章の[トラブルシューティング]を参考にしてください。

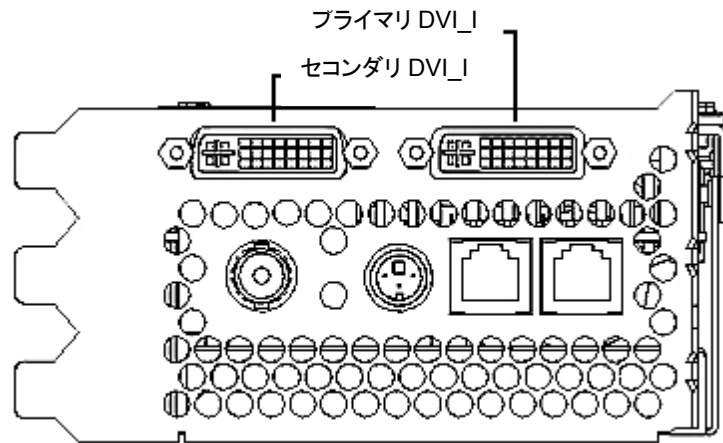


図 3 : Wildcat 4210 デジタルビデオ出力

VGA ディスプレイを接続するには:

1. ワークステーションの 15 ピン VGA コネクタを DVI アナログアダプタ(図 4 を参照)に接続します。
2. アダプタの DVI-I 端(図 4 を参照)を Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードの DVI ポートに接続します。単一ディスプレイを接続する場合は、図 3 に示すプライマリ DVI ポートに接続します。
3. コンピュータの電源を入れます。LED がつかない、またはディスプレイがスタートアップシーケンスを表示しない場合は、4 章の[トラブルシューティング]を参考にしてください。

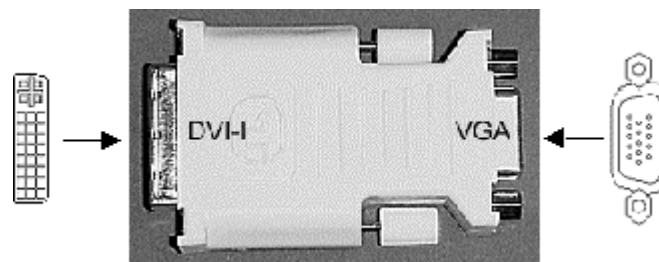


図 4. DVI-I から VGA アダプタ

- 注： コンピュータディスプレイ備え付けのビデオケーブルが無い場合は、カードのビデオ出力ポート用の DVI-I レセプタクル、または、アダプタを備えた 15 ピン VGA ビデオコネクタを一方に持ち、もう一方にディスプレイのビデオ入力ポートに適切なコネクタを持つ、シールドビデオケーブルを使用してください。詳細はお使いのディスプレイに備わっている説明書を参照してください。
- 注： ビデオカードをご自分でインストールした場合は、コンピュータは VGA モードで起動します。ビデオドライバをインストールする必要がありますので、この章の[ソフトウェアのインストール]にお進みください。
- 注： ほかの装置をビデオカードに接続する方法については、この章の「ステレオ表示装置の接続」を参照してください。
- 注： Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードをシステムの一部としてお買い上げの場合は、システム出荷前に、正しく動作するビデオカードがシステムに構成されています。解像度、カラーデプス、リフレッシュレートを調整する場合は、3 章「ビデオカードの使用」を参照してください。

ソフトウェアのインストール

Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードをシステムの一部として受け取っている場合は、出荷前にビデオドライバもインストールされています。このセクションの内容は、Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードをアップグレードとしてお買い上げくださった場合、またはドライバを再インストールする必要が出た場合またはオペレーティングシステムを Microsoft Windows 2000 に更新した場合のみ適用されます。

コンピュータが準備完了であることを確認

Wildcat ドライバソフトウェアをインストールするには、お使いのコンピュータに次の事柄が備わっているかを確認してください：

- ◆ Microsoft Windows NT ワークステーション 4.0 オペレーティングシステム(サービスパック 4 以上) または Microsoft Windows 2000 オペレーティングシステムがインストール
- ◆ コンピュータの主要システムディスクに 3MB のディスク空き容量

警告： Windows NT 4.0 または Windows 2000 オペレーティングシステム用の正しいドライバでなくてはなりません。ドライバが正しいものかどうか不確かな場合は、ドライバの配布メディアに含まれている README.TXT で確認してください。

注： ドライバとアプリケーションプログラムのインストールに関する詳細は Microsoft Windows NT または Windows 2000 の説明書とオンラインヘルプを参照してください。

注： Intense3D Wildcat 4210 ドライバを再インストールする場合は、インストールを開始する前に、既存のドライバを削除する必要があります。

Windows NT4.0 を実行している場合

既存の Intense3D Wildcat 4210 ドライバを削除するには：

1. Administrator 権限を備えたアカウントにログオンします。
2. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]を選択して、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
3. [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスの[インストールと削除]タブのリストから[Intense3D Display Driver]を選択して、[追加と削除]ボタンをクリックします。
4. ドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックして、表示されるプロンプトにしたがって、ドライバを削除します。Wildcat 4210 ドライバをインストールする前に、システムを再起動します。

Wildcat 4210 ビデオドライバをインストールするには：

1. Administrator 権限を備えたアカウントにログオンします。
2. 適切なデバイス(フロッピーディスクドライブまたは CD ドライブ)に配布メディアを挿入します。
3. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]を選択して、[画面]をダブルクリックします。[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[ディスプレイの設定]タブをクリックします。
4. [ディスプレイの種類]ボタンをクリックして、[ディスプレイの種類]ダイアログを表示します。
5. [変更]ボタンをクリックして、[ディスプレイの変更]ダイアログを表示します。
6. [ディスク使用]をクリックして、[フロッピーディスクからインストール]ダイアログを表示します。
7. [配布ファイルのコピー元]に、配布メディアが入っているディレクトリパスをキー入力します。
8. [ディスプレイの変更]ダイアログで Wildcat 4210 ドライバがハイライトされていることを確認してから、[OK]をクリックします。
9. サードパーティーのドライバをインストールしますかと聞かれたら、[はい]をクリックしてください。配布メディアからファイルがコンピュータの主要ハードディスクにコピーされます。
10. ドライバファイルのコピーが無事完了したら、その旨を告げるメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。
11. [閉じる]をクリックして、[ディスプレイの種類]ダイアログを終了します。

12. [閉じる]をクリックして、[画面のプロパティ]ダイアログを終了します。
13. 新規設定を有効にするために、コンピュータの再起動を指示するプロンプトが表示されます。フロッピーディスクの場合は、コンピュータのフロッピーディスクドライブからディスクを取り出します。[はい]をクリックしてコンピュータを再起動します。
14. システムが再起動してログインが終わると、メッセージが表示されます。新規ビデオドライバがインストールされたので、[コントロールパネル]の[画面]オプションを使用してディスプレイ解像度を選択するよう指示するメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。

注： 画面のプロパティの設定方法については、3章の「ビデオカードの使用」を参照してください。

Windows 2000 を実行している場合

既存のドライバを削除するには：

1. Administrator 権限を備えたアカウントにログオンします。
2. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]を選択して、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
3. アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスの[インストールと削除]タブのリストから[Intense3D Display Driver]を選択して、[追加と削除]ボタンをクリックします。
4. ドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックして、表示されるプロンプトにしたがって、ドライバを削除します。
5. ドライバの削除が完了したことを告げるメッセージが表示されたら、[OK]をクリックして、システムを再起動します。

新しいドライバをインストールするには：

1. Administrator 権限を備えたアカウントでログオンします。[新しいハードウェアの検出]ダイアログボックスが表示されます。
2. [新しいハードウェアの検索]ウィザードの[次へ]をクリックします。
3. [ハードウェアデバイスドライバのインストール]で[デバイスに最適なドライバを検索（推奨）]をクリックして、それから[次へ]をクリックします。
4. [ドライバファイルの指定]で適切な検索場所が選択されていて、ドライバ配布メディアの Disk 1 が適切なドライブにロードされていることを確認します。それから[次へ]をクリックします。ウィザードはドライバインストールのファイルを検索します。
5. [ドライバファイルの検索]で[次へ]をクリックして、インストールを開始します。
6. Disk 2 の挿入のプロンプトが表示されたら、Disk 2 を挿入してから[OK]をクリックして、インストールを続けます。
7. ドライバが無事にインストールされたときには[完了]をクリックして、[新しいハードウェアの検出]ウィザードを閉じます。

注： Windows 2000 は多重パイプラインを 2 つのデバイスとして認識します。[新しいハードウェアの検索]ウィザードが再度表示されますので、続けてインストールを行えます。

注： 上記のステップ 3 から 7 までを繰り返してインストールを完了します。

8. 新しい設定値を有効にするためにワークステーションを再起動する必要があるというメッセージが表示されときは、ワークステーションのフロッピーディスクドライブからディスクを取り出してから[はい]をクリックして、ワークステーションの再起動を行います。

注： 画面のプロパティの定義に関する情報は、「Windows 2000 でビデオ表示を定義」を参照してください。

デフォルトのビデオ表示ドライバであることを確認

Windows NT 4.0 を実行している場合：

デフォルトのビデオ表示ドライバであることを確認するには：

1. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]>[画面]の[ディスプレイの設定]タブをクリックします。
2. [ディスプレイの種類]をクリックして、「Intense3D Wildcat 4210」が[アダプタの種類]にリストされていることを確認します。これによって、適切なドライバがインストールされていることを確認できます。
3. [キャンセル]をクリックして、そのまま[ディスプレイの種類]ダイアログボックスを閉じます。
4. [画面のプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

Windows 2000 を実行している場合：

デフォルトのビデオ表示ドライバであることを確認するには：

1. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]>[画面]をクリックして、[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[設定]タブをクリックします。
2. [ディスプレイ]に2つの「Intense3D Wildcat 4210」がリストされていることを確認します。これによって、適切なドライバがインストールされていることを確認できます。
3. [キャンセル]をクリックして、そのまま[画面のプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

システムスタートアップバージョンを確認

Windows NT 4.0 を実行している場合：

システムスタートアップバージョンであることを確認するには：

1. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]>[システム]の[起動/シャットダウン]タブをクリックします。
2. [起動システム]で「Windows NT Workstation Version 4.x」が表示されていることを確認します。そうでない場合は、それを選択して、[適用]ボタンをクリックします。

注：オペレーティングシステムの VGA バージョンを選択しないでください。ビデオ表示は、Intense3D Wildcat 4210 ビデオドライバが実行していないときに VGA モードで実行します。

3. [OK]ボタンをクリックして、[システム]ダイアログボックスを閉じます。

ビデオ画像をチェックするには：

1. [画像のプロパティ]ダイアログボックスが表示されていない場合は、[スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]>[画面]の[ディスプレイの設定]タブをクリックします。
2. [テスト]をクリックして、表示解像度をテストします。
3. [OK]をクリックして、[画面のプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

注：表示のプロパティの設定方法については、3章の[ビデオカードの使用]を参照してください。

Windows 2000 を実行している場合：

システムスタートアップバージョンであることを確認するには：

1. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]>[システム]の[詳細]タブをクリックします。
2. [起動と修復]をクリックします。
3. [起動と回復]ダイアログボックスで起動システムの既定のオペレーティングシステムとして「Microsoft Windows 2000 Professional」が表示されていることを確認して、[OK]をクリックします。
4. [OK]をクリックして、[システム]ダイアログボックスを閉じます。

ステレオ表示装置の接続

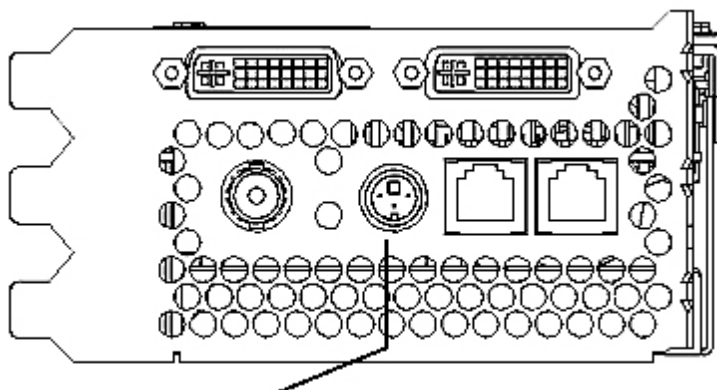
この説明は、ステレオビデオ表示装置を Wildcat 4210 ビデオカードに接続する場合のみ適用されます。

ステレオビデオ表示装置を接続するには：

1. ステレオスコピック表示装置の入力ポートにステレオエミッタケーブルの 1 端を接続します。

注：コネクタと正しいケーブルについての情報は、ステレオスコピック表示装置に備わっている説明書を参照してください

2. ケーブルの別の端を Wildcat 4210 ビデオカードのステレオ出力ポートに接続します (図 4 を参照)。
3. 表示設定値を構成して、ステレオ表示を可能にします。表示設定値の構成手順は 3 章の[ビデオカードの使用]を参照してください。



ステレオ同期出力

図 5 Wildcat 4210 ステレオ同期出力ポート

3 ビデオカードの使用

この章は、ビデオ表示の構成とステレオ表示の使用を可能にする方法について説明します。

注： Intense3D Wildcat 4210 ビデオカードをシステムの一部としてお買い上げの場合は、システム出荷前に、正しく動作するビデオカードがシステムに構成されています。これ以降のハードウェアインストールに関する説明は、別途にキットを購入して、ビデオカードをアップグレードまたはアドオンとして購入なされた場合にのみ適用されます。

ビデオ表示の構成

ドライバが Windows NT に正しくインストールされていれば、[画面のプロパティ]ダイアログボックスには[Intense3D の構成]と[Intense3D ディスプレイ]という 2 つのタブが追加されます。

Windows 2000 では、[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[ディスプレイの設定]タブの[詳細]ボタンをクリックして、Intense3D のタブが追加されているかを確認できます。

[Intense3D の構成]タブ

[Intense3D の構成]タブを使用するには：

1. Windows NT または Windows 2000 の非 VGA モードでログインしていることを確認してください。確認方法については、Windows NT または Windows 2000 の説明書またはオンラインヘルプを参照してください。
2. 現在開いているアプリケーションをすべて閉じます。
3. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]>[画面]をクリックします。それから、Windows NT では、[Intense3D の構成]タブをクリックします。Windows 2000 では、[ディスプレイの設定]タブの[詳細]をクリックして、さらに[Intense3D の構成]タブをクリックします。(図 6 を参照)。
4. [Intense3D の構成]タブで
 - [ハードウェア情報]をクリックして、現在のハードウェア設定値を確認します。
 - [ビューの構成]をクリックして現在のディスプレイ構成を確認します。

- [構成ウィザード]をクリックして、現在のディスプレイ構成の変更または新規構成の作成を補助する手順を追ったインターフェイスをアクティブにします。[Wildcatの構成ウィザード]では、[次へ]をクリックして、表示されるプロンプトにしたがって、構成の変更/削除または新規構成の作成を行います。



図 6. [Intense3D の構成]タブ

[Intense3D ディスプレイ]タブ

[Intense3D ディスプレイ]を使用するには：

1. [画面のプロパティ]ダイアログボックスの[Intense3D ディスプレイ]タブをクリックします。(図6を参照)このタブには解像度、カラーデプス、リフレッシュレートを調整するコマンドが入っています。[画面のプロパティ]ダイアログボックスの使用方法は「[Intense3D の構成]タブ」の手順を参照してください。



図7. [Intense3D ディスプレイ]タブ

2. [色調整]をクリックして、色の設定値を変更できます（図8を参照）。[色調整]ダイアログボックスで必要な変更を行ったら、[OK]ボタンをクリックして変更を承認し、ダイアログボックスを閉じるか、または[キャンセル]ボタンをクリックして、行った変更を破棄し、ダイアログボックスを閉じます。[Intense3Dディスプレイ]ダイアログボックスに戻ります。

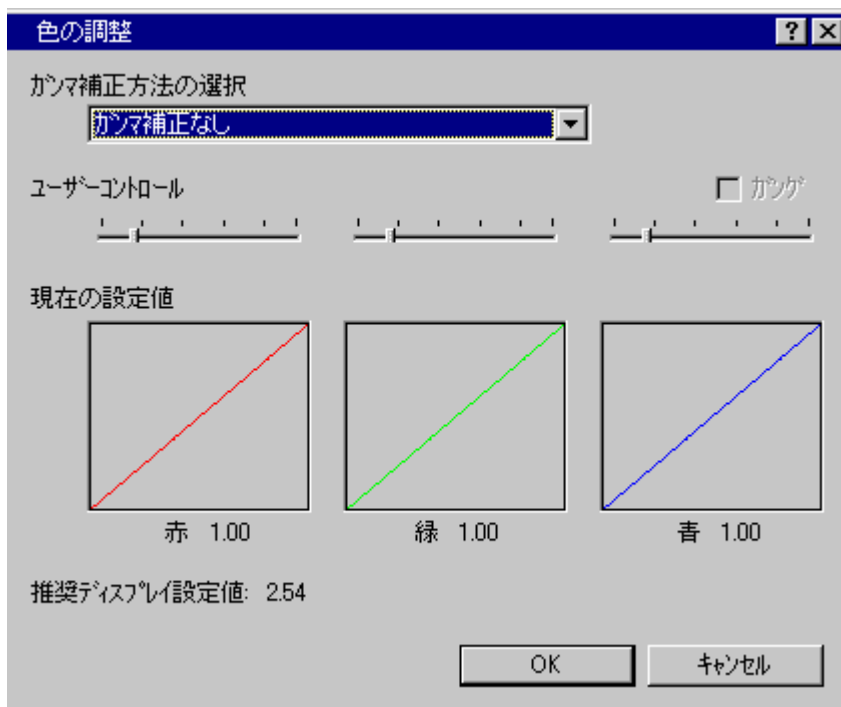


図8. [色調整]ダイアログボックス

3. [Intense3D ディスプレイ]タブの[ディスプレイの構成]ボタンをクリックして、表示モード、ディスプレイの種類の選択、解像度/リフレッシュレートの変更します。（図9を参照）必要な変更を行ったら、[OK]ボタンをクリックして、新しい構成を承認して、[ディスプレイの構成]ダイアログボックスを閉じます。[Intense3D ディスプレイ]ダイアログボックスに戻ります。
4. [画面のプロパティ]ダイアログボックスで、[OK]ボタンをクリックして、行った変更を承認します。
5. コンピュータの再起動を促すプロンプトが表示された場合は再起動を行います。通常、再起動をしないと変更は有効になりません。

注： 使用可能な解像度のリストは付録Aの「仕様」を参照してください。

注： 表示モードの変更方法は、この章の「ステレオ表示を使用可能にする」を参照してください。

注： 多重ディスプレイの構成方法は、「Windows 2000 で多重ディスプレイ機能を使用可能にする」を参照してください。

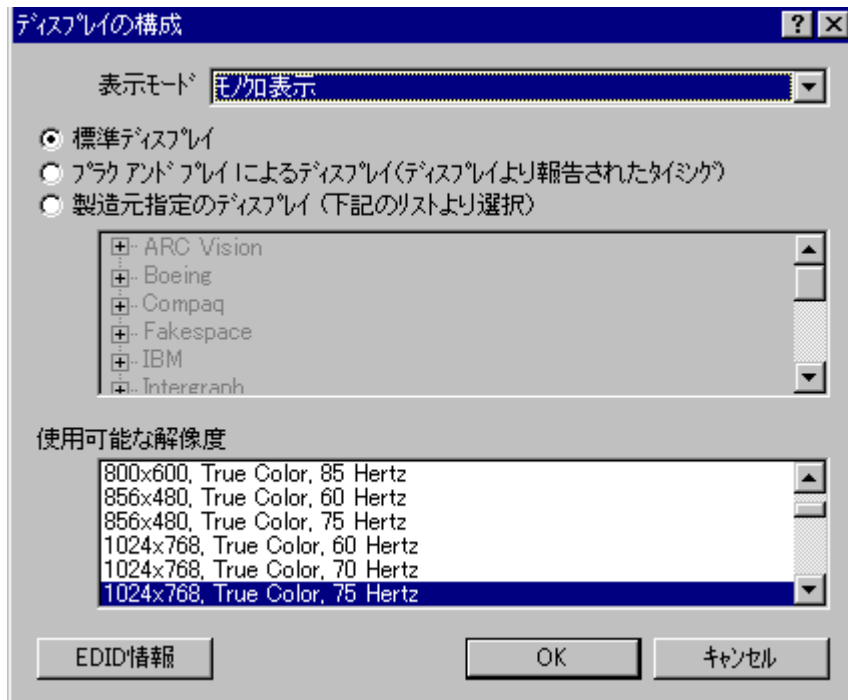


図 9. [ディスプレイの構成]ダイアログボックス

ステレオ表示を使用可能にする

Wildcat 4210 カードのステレオポートにステレオ表示装置を接続した場合は、表示モードをステレオ表示できるように変更する必要があります。ステレオ出力ポートの図は 2 章「セットアップ」の図 5 を参照してください。

注： [画面のプロパティ]ダイアログボックスを表示する必要があります。[画面のプロパティ]ダイアログボックスをアクティブにする方法と[Intense3D ディスプレイ]タブの選択方法はこの章の「ビデオ表示の構成」を参照してください。

ステレオ表示を使用可能にするには：

1. ステレオ表示装置が Wildcat 4210 カードに正しくステレオ出力ポートに接続されていることを確認します。詳細は 2 章の「ステレオ装置の接続」を参照してください。
2. [画面のプロパティ]ダイアログボックスの「Intense3D ディスプレイ」タブで、「ディスプレイの構成」をクリックします。「ディスプレイの構成」ダイアログボックスが開きます。（上記の図 9 を参照）
3. [表示モード]プルダウンからステレオスコピックの表示モードを選択し、「OK」をクリックします。[画面のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。
4. 次のメッセージが表示されます。「選択したディスプレイは、現在のデスクトップ領域をサポートできません。これらの設定値を適用する前に、新しい解像度を選択してください。」[OK]をクリックして、[使用可能な解像度]の一覧から適切な解像度を選択します。
5. 構成した表示が正しく、その新しい設定値を適用する場合は、[OK]をクリックします。[画面のプロパティ]ダイアログボックスは閉じます。

注： ステレオ表示が必要でなくなったら、ステレオ表示モードを使用不可にする必要があります。それには、上記の手順に従い、ステレオ表示モードの代わりにモノスコピック表示モードを選択するとステレオ表示モードは使用不可となります。

注：： 画面のプロパティの定義方法は、3 章の「ビデオカードの使用」を参照してください。

マルチビューと GenLock を使用可能にする

Intense3D Wildcat 4210 はマルチワークステーションもフレームロックとレートロック機能に対するマルチビューをサポートします。Genlock サポートはビデオタイミングを外部タイミングソースに同期させることができます。

注： 追加のアプリケーションはマルチビューを作動するマルチビューをサポートしている必要があります。

マルチビュー用にワークステーションを設定するには：

1. シールド RJ12 ケーブルの 1 端を最初のワークステーションのマルチビュー出力ポート(図 10 を参照)に挿入します。このワークステーションは「主」ワークステーションとなります。

注： 正しいケーブルの購入に関する情報は、Intense3D のサポートのウェブサイト (www.
<http://www.intense3d.com/support.asp>) を参照してください。

2. ケーブルのもう 1 つの端を 2 番目のワークステーションのマルチビュー入力ポートに挿入します。このワークステーションは「従」ワークステーションとなります。
3. 2 つ以上のワークステーションを接続する場合は、1 つのワークステーションのマルチビュー出力ポートから別のワークステーションのマルチビュー入力ポートへと直列に接続していきます。最後のワークステーションは、マルチビュー入力ポートにケーブルを挿入した状態で接続を終了します。

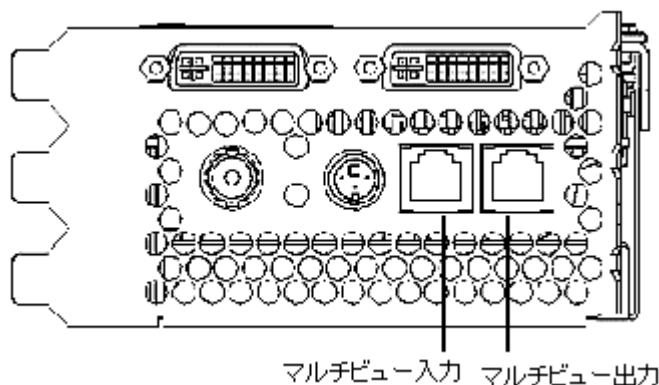


図 10. マルチビュー入力ポートとマルチビュー出力ポート

マルチビューケーブルが探知されていることを確認するには：

1. 「従」ワークステーションの[スタート]メニューの[設定]のサブメニューから[コントロールパネル]を選択して、それから[画面]を選択します。
2. [画面のプロパティ]ダイアログボックスの[ディスプレイの設定]タブをクリックします。
3. Windows NT を実行している場合は、ステップ 4 にスキップしてください。Windows 2000 の[ディスプレイの設定]タブの[詳細]をクリックして、[詳細プロパティ]ダイアログボックスを表示します。
4. [Intense3D ディスプレイ]タブをクリックして、[マルチビュー]をクリックします。
5. [マルチビュー情報]の[マルチビュー入力ケーブル]が「探知できました」となっているかを確認します。

Genlock 機能を使用可能にするには：

1. 外部タイミングソースを「主」ワークステーションの Genlock 入力ポート（図 11 を参照）に接続します。

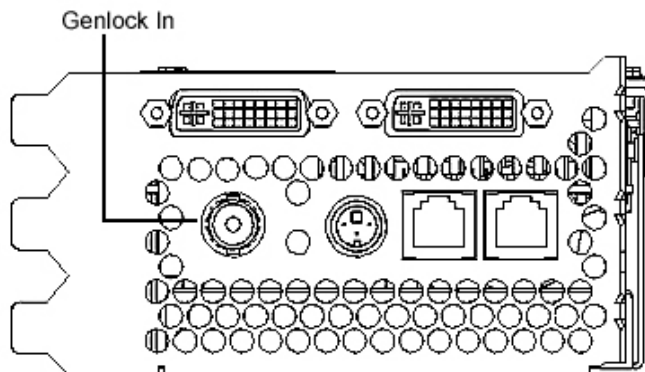


図 11. Genlock In ポート

2. [スタート]メニューの[設定]サブメニューから[コントロールパネル]を選択して、さらに[画面]を選択します。
3. [画面のプロパティ]ダイアログボックスの[ディスプレイの設定]タブをクリックします。
4. [ディスプレイの設定]タブの[詳細]をクリックして、[詳細プロパティ]ダイアログボックスを表示します。
5. [Intense3D ディスプレイ]タブをクリックして、[マルチビュー]をクリックします。
6. [Genlock 構成]の[使用可能]をオンにします。（図 12 を参照）。

7. [ソース]プルダウンメニューから信号ソースを選択します。
8. [信号先の応答]、[信号固定レート]、[ピクセル位置揃えのオフセット]をしようアプリケーション居合わせて設定して、[適用]をクリックします。

注： Genlock を正しく維持するためにはカスタムタイミングファイルを必要とするディスプレイもあります。これに関する詳細はディスプレイに備わっている説明書を参照してください。

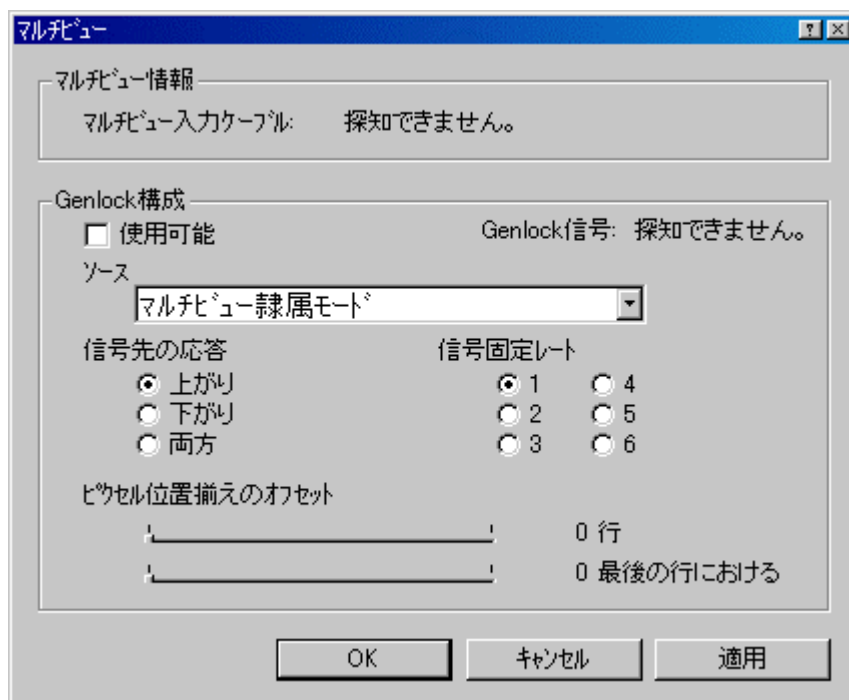


図 12 [マルチビュー]ダイアログボックス.

Windows 2000 で多重ディスプレイ機能を使用可能にする

Intense3D Wildcat 4210 では Windows 2000 で多重ディスプレイをサポートしています。多重ディスプレイ機能はカードに2つのディスプレイを接続して、表示領域をその両方のディスプレイにまたがって拡張した画面を表示することができます。

注： この機能は Windows 2000 を実行しているワークステーションだけ使用できます。

注： 多重ディスプレイ機能を使用可能にする前に、2番目のディスプレイをセカンダリ DVI-I ポートに接続する必要があります（接続方法は、[ディスプレイの接続]を参照してください。）

多重ディスプレイ機能を使用可能にするには:

1. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]>[画面]をクリックします。
2. [画面のプロパティ]ダイアログボックスで[ディスプレイの設定]タブをクリックします。
3. [ディスプレイの設定]タブの[詳細]をクリックして、[詳細プロパティ]ダイアログボックスを表示します。
4. [Intense3D の構成]タブをクリックして、[最大ディスプレイ数]で[2]を選択します（図 13 を参照）。
5. [適用]をクリックします。
6. [はい]を選択して、システムをシャットダウンします。

警告： 変更を有効にするにはシステムの電源を切る必要があります。

7. ワークステーションの電源を入れます。プライマリディスプレイがスタートアップ順にしたがって表示されます。ディスプレイの電源がオンであることを示す LED が付かない場合、またはプライマリディスプレイが何も表示しない場合は、4章の「トラブルシューティング」を参照してください。



図 13: 最大ディスプレイ数の選択

ディスプレイの設定を多重ディスプレイに変更するには：

1. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]>[画面]をクリックします。
2. [画面のプロパティ]ダイアログボックスで[ディスプレイの設定]タブをクリックします(図 14 を参照) プライマリディスプレイは[1]とラベルされたアイコン、セカンダリディスプレイは[2]とラベルされたアイコンとして表示されています。
3. アイコンをドラッグして、実際のディスプレイ位置と一致するように調整します。

ディスプレイの色または解像度を調整するには：

1. 調整するディスプレイのアイコンをクリック、または[ディスプレイ]プルダウンメニューから対応するディスプレイを選択します(図 14 を参照)。
2. 調整するディスプレイが選択されたら、[色]または[デスクトップ領域]で必要な色や解像度の変更を行います。

- もう1つのディスプレイのアイコンをクリック、または[ディスプレイ]プルダウンメニューから対応するディスプレイを選択して、そのディスプレイの色または解像度を調整します。

注： [詳細プロパティ]で行った変更は、両方のディスプレイに影響します。

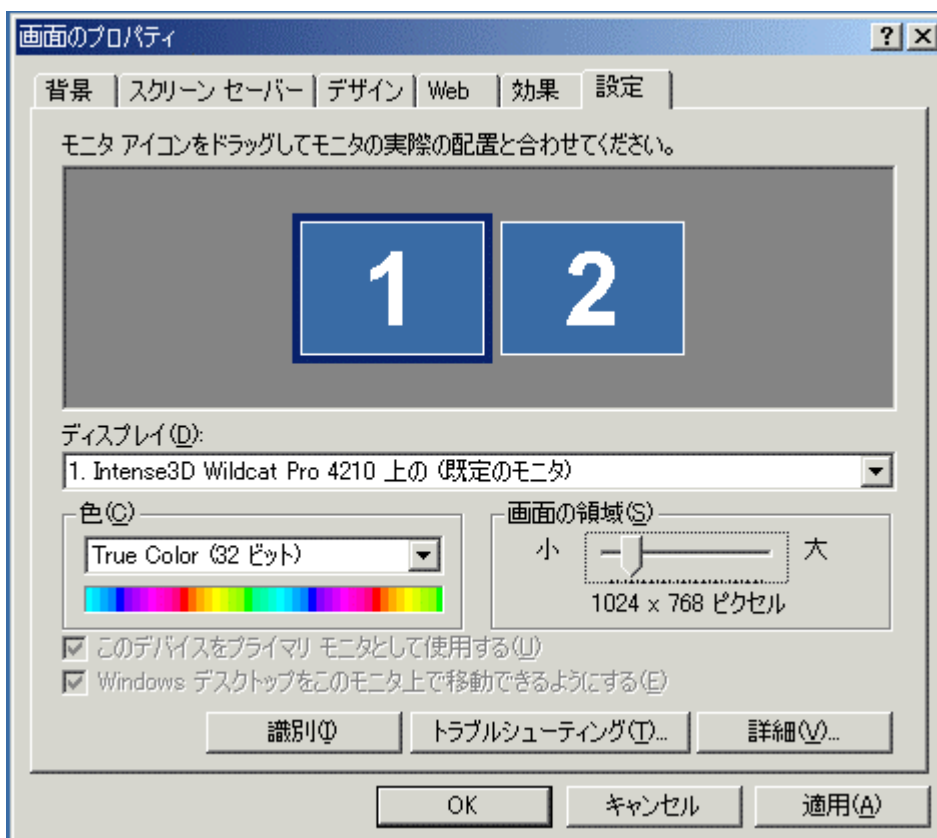


図 14: 多重ディスプレイを設定するタブ

4 トラブルシューティング

この章では良くある問題点とその解決法、使用可能なビデオ解像度の取得方法、ビデオドライバの再インストール方法、ヘルプの取得方法について説明します。

良くある問題点とその解決法

表示の問題

問題点	原因	解決法
画面が真っ黒で、同期していないまたは歪んでいる。	画面のプロパティが正しく設定されていません。	Windows NT で最後の正しい構成オプションを使うか、または Windows 2000 を安全モードで再起動して、サポートする解像度とリフレッシュレートを選択します。詳細はこの章の「使用可能な解像度の取得」で説明します。
	単一ディスプレイがプライマリ DVI_I ポートに接続されていません。	ワークステーションの電源を切って、セコンダリ DVI_I ポートからディスプレイを切り離して、プライマリ DVI_I ポートに接続し直して、ワークステーションを再起動します。
選択されている解像度またはリフレッシュレートをディスプレイがサポートしていない。	選択した設定値はお使いのディスプレイとビデオカードに対応していません。	Windows NT で最後の正しい構成オプションを使うか、または Windows 2000 を安全モードで再起動して、サポートする解像度とリフレッシュレートを選択します。詳細はこの章の「使用可能な解像度の取得」で説明します。
		ビデオドライバをインストールし直します。
VGA 起動画面が表示されない。	正しく接続していない可能性があります。	ビデオカードとディスプレイケーブルがきちんと接続しているかを確認します。
		ディスプレイとコンピュータに電源が入っているかを確認します。
		ほかの外部ディスプレイと接続されている場合は、その接続もチェックします。
		ビデオカードが対応するスロットにきちんとはまっているかを確認します。

画面の画像が中心からずれている。	ディスプレイの設定値が間違っ て構成されてい る可能性があります。	ディスプレイのユーザズガイドで、水 平端の垂直調整方法を参照します。
色のバランスが 悪い	ディスプレイの 設定値が間違っ て構成されてい る可能性があります。	ディスプレイのユーザズガイドで、色 の調整方法を参照します。
画像が表示され ない	ソフトウェアの セットアップが 間違っている、 またはハードウ ェアに問題があ ります。	VGA/安全モードで再起動して、ディス プレイの種類に適した画面のプロパティが 設定されているかを確認します。ソフト ウェアが正しくセットアップされている 場合は、使用可能で機能的に問題のない 似た種類のディスプレイを使って、コ ンピュータ自体に欠陥がないかをチェッ クします。コンピュータに欠陥がないか を特定する方法については、この章の 「使用可能な解像度の取得」を参照して ください。
	多重ディスプレ イ機能を選択し た後、システム がシャットダウ ンされていませ ん。	システムの電源を切って、再び電源を入 れ直してください。
画面の画像に欠 陥があるように 見える	ハードウェアに 問題がある可能 性があります。	診断ユーティリティを実行して、グラ フィックスハードウェアをチェックしま す

診断ユーティリティ

ビデオカードをチェックする診断ユーティリティとその使用方法については、お使いのコンピ
ュータの供給先にお問い合わせください。

使用可能な解像度の取得

ビデオドライバが実行していない場合は、すべてのディスプレイの種類を取り扱えるように、システムはVGAモードで操作されます。VGAモードはビデオ表示ドライバの初期インストール中、及びビデオに問題が生じたときに使用します。選択した解像度がディスプレイの表示に問題を起す場合は：

Windows NT 4.0 の場合：

Windows NT オペレーティングシステムへのログオンの際に、CTRL+ALT+DE ではなく、「最後の正しい構成」オプションを使います。これによって、Windows NT が記録している [最後の正しい構成] を使ってログオンできるようになります。

Windows NT で[最後の正しい構成]オプションを使用するには：

1. システムを再起動します。
2. 次のプロンプトの際にスペースバーを押します。

最後の正しい構成メニューを起動するには、今スペースバーを押してください。

注：最後の正しい構成オプションを使っても、ビデオ表示の問題を修正できない場合は、システムをVGAモードで再起動して、解像度 640 x 480、リフレッシュレート 60Hz に構成します。それから Windows NT を非VGAモードで起動し直します。

Windows 2000 の場合：

Press CTRL+ALT+DEL キーを押して、WINDOWS 2000 オペレーティングシステムにロオンするのではなくシャットダウンします。それから安全モードで起動して、別の解像度を選択するか、またはビデオドライバをインストールし直します。

安全モードでシステムを再起動するには：

1. システムを再起動します。
2. 起動画面で F8 キーを押して、[Windows 2000 の詳細オプション]メニューに入ります
3. [安全モード]を選択してから Enter キーを押すと、起動画面に戻ります。

欠陥のある部分の特定

欠陥のある部分を特定するには：

1. ファイルを全て保存してから終了します。可能な場合は、オペレーティングシステムもシャットダウンします。
2. ディスプレイとコンピュータの電源を切ります。

注意事項： ケーブルを接続または取り外す際には必ずワークステーションの電源を切ってください。

3. すべてのカードとケーブルの接続部分をチェックして、必要に応じてはめ直します。
4. ディスプレイの電源を入れます。ディスプレイの電源がオンであることを示すライトがつかない場合は、ディスプレイをチェックします。
5. システムのベースユニットの電源を入れます。ベースユニットがオンであることを示すライトが点かない、または BIOS ビープコードが失敗を示している場合はこの章の「ヘルプの取得」を参照します。

ビデオドライバの再インストール

注意事項： Microsoft Windows NT 4.0 または Windows 2000 オペレーティングシステム用の正しいビデオドライバが必要です。ドライバが正しいものであるか不確かな場合は、ドライバの配布メディアに備わっている readme.txt を参照してください。

注： ドライバやアプリケーションプログラムのインストールに関する詳細は、Windows NT 4.0 または Windows 2000 の説明書とオンラインヘルプを参照してください。

注： Intense3D Wildcat 4210 ドライバを再インストールする場合は、アップデートを行う前に、既存のドライバを削除する必要があります。

Windows NT 4.0 でビデオドライバを再インストールする場合：

既存の Intense3D Wildcat 4210 ドライバを削除するには：

1. Administrator 権限を備えたアカウントにログオンします。
2. [スタート]メニューの[設定] > [コントロールパネル]を選択して、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
3. [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスの[インストールと削除]タブのリストから[Intense3D Display Driver]を選択して、[追加と削除]ボタンをクリックします。
4. ドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックして、表示されるプロンプトにしたがって、ドライバを削除します。

Wildcat 4210 ビデオドライバを再インストールするには：

1. Administrator 権限を備えたアカウントで Windows NT にログオンします。
2. 適切なデバイス(フロッピーディスクドライブまたは CD ドライブ)に配布メディアを挿入します。
3. [スタート]メニューの[設定] > [コントロールパネル]を選択して、[画面]をダブルクリックします。[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[ディスプレイの設定]タブをクリックします。
4. [ディスプレイの種類]ボタンをクリックして、[ディスプレイの種類]ダイアログを表示します。
5. [変更]ボタンをクリックして、[ディスプレイの変更]ダイアログを表示します。
6. [ディスク使用]をクリックして、[フロッピーディスクからインストール]ダイアログを表示します。

7. [配布ファイルのコピー元]に、配布メディアが入っているディレクトリパスをキー入力します。
8. [ディスプレイの変更]ダイアログで Wildcat 4210 ドライバがハイライトされていることを確認してから、[OK]をクリックします。
9. ドライバファイルのコピーが無事完了したら、その旨を告げるメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。
10. [閉じる]をクリックして、[ディスプレイの種類]ダイアログを終了します。
11. [閉じる]をクリックして、[画面のプロパティ]ダイアログを終了します。
12. 新規設定を有効にするために、コンピュータの再起動を指示するプロンプトが表示されます。フロッピーディスクの場合は、コンピュータのフロッピーディスクドライブからディスクを取り出します。[はい]をクリックしてコンピュータを再起動します。
13. システムが再起動してログインが終わると、メッセージが表示されます。新規ビデオドライバがインストールされたので、[コントロールパネル]の[画面]オプションを使用してディスプレイ解像度を選択するよう指示するメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。

Windows 2000 でビデオドライバを再インストールする場合：

既存のドライバを削除するには：

1. Administrator 権限を備えたアカウントでログオンします。
2. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]を選択して、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
3. アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスの[インストールと削除]タブのリストから[Intense3D Display Driver]を選択して、[追加と削除]ボタンをクリックします。
4. ドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックして、表示されるプロンプトにしたがって、ドライバを削除します。
5. ドライバの削除が完了したことを告げるメッセージが表示されたら、[OK]をクリックして、システムを再起動します。

ビデオドライバをインストールするには：

1. Administrator 権限を備えたアカウントでログオンします。
2. [スタート]メニューの[設定]>[コントロールパネル]>[ハードウェアの追加と削除]をクリックします。

3. システムのプロパティで[デバイスマネージャ]で「Intense3D Wildcat 4210」を選択します。
4. 「Intense3D Wildcat 4210」の上で右クリックして、[プロパティ]を選択し、さらに[ドライバの更新]をクリックします。
5. [デバイスドライバの更新]ウィザードが表示されますので、[次へ]をクリックします。
6. [ハードウェアデバイスドライバのインストール]で[デバイスに適正なドライバを検索（推奨）]をクリックして、それから[次へ]をクリックします。
7. [ドライバファイルの指定]で適切な検索場所が選択されていて、ドライバ配布メディアの Disk 1 が適切なドライブにロードされていることを確認します。それから[次へ]をクリックします。ウィザードはドライバインストールのファイルを検索します。
8. [ドライバファイルの検索]で[次へ]をクリックして、インストールを開始します。
9. Disk 2 の挿入のプロンプトが表示されたら、Disk 2 を挿入してから[OK]をクリックして、インストールを続けます。
10. ドライバが無事にインストールされたときには[完了]をクリックして、[新しいハードウェアの検索]ウィザードを閉じます。
11. 新しい設定値を有効にするためにワークステーションを再起動する必要があるというメッセージが表示されるときは、ドライブから配布メディアを取り出してから[はい]をクリックして、ワークステーションの再起動を行います。

ヘルプを取得する

この章で示した解決法で問題を解決できなかった場合は、供給先のテクニカルサポートへ連絡してください。（連絡方法については、システムの説明書を参照してください。）保証に関する詳細はシステムの説明書を参照してください。

付録 A 仕様

全般	
製造元	Intense3D
モデル番号	Wildcat 4210
機能性	
システム	注： システムの一部として、このビデオカードを購入している場合は、出荷前に、ビデオカードはインストールされており、さらにシステムに合わせて正しく構成されています。
インターフェイス	AGP Pro 110
グラフィックスコントローラ	高速 Wildcat チップセット技術
DAC 速度	250MHz
データ幅	<ul style="list-style-type: none">◆ フレームバッファ： 256 ビット◆ テクスチャバッファ： 128 ビット◆ ダイレクトバースト： 64 ビット
コネクタ	<ul style="list-style-type: none">◆ 3 ピン、 MiniDIN ステレオ同期出力◆ BNC コネクタ◆ 2 つの DVI-I 出力◆ 2 つの 6 ピン モジュラージャック
割り込み	<ul style="list-style-type: none">◆ PCI-割り当て◆ 割り込み A (Wildcat 4210)
DMA チャンネル	<ul style="list-style-type: none">◆ PCI◆ AGP 2X

ビデオメモリ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ フレームバッファ：128MB ◆ テクスチャバッファ：128MB ◆ ダイレクトバースト：32MB 	
3次元パフォーマンス	<p>注：パフォーマンスにおける数字は最大ハードウェアレートにおける数字を示しています。この数字はアプリケーションによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 3次元 Gouraud シェーディング 三角形、Z-バッファ、15 ピクセル: 11.0M (三角形/秒) ◆ 3次元 Gouraud シェーディング 三角形、Z-バッファ、25 ピクセル: 8.7M (三角形/秒) ◆ 3次元ベクタ、ベタ塗り色、10 ピクセル: 20.0M (三角形/秒) 	
サイズ	高さ	2.2"
	長さ	13.34"
	幅	4.25"
	必要なスロット	<ul style="list-style-type: none"> ◆ AGP Pro 110 スロット 1つ ◆ PCI スロット 2つ (ボード上の電源の隣と冷却目的のため)
電源必要条件	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 最大 110 W ◆ 最大 12.0V 250 mA ◆ 最大 5.0V 113A ◆ 最大 3.3V 8A 	

解像度	注： サポートする解像度とリフレッシュレートはお使いのディスプレイによって異なります。			
	ディスプレイ解像度 (ピクセル当たりのビット数)	リフレッシュレート (Hz)	SuperScene AA	フレームシーケンシャルステレオ
	1280 x 1024	85	Yes	Yes
	1920 x 1440	75	-	-
	1856 x 1392	85	-	-
	1824 x 1368	90	-	-
	1792 x 1344	75	-	-
	1600 x 1200	90	Yes	-
	1280 x 960	85	Yes	Yes
	1152 x 864	85	Yes	Yes
	1024 x 768	85	Yes	Yes
	800 x 600	85	Yes	Yes
	640 x 480	85	Yes	Yes
	1920 x 1200	76	-	-
	1824 x 1128	75	Yes	-
	1792 x 1120	75	Yes	-
	1600 x 1024	76	Yes	-
	1440 x 900	90	Yes	Yes
	1280 x 800	90	Yes	Yes
	2048 x 1152	75	-	-
	1920 x 1080	85	Yes	-
	1600 x 900	85	Yes	-
	1520 x 856	90	Yes	Yes
	1360 x 766	90	Yes	Yes
	1280 x 720	85	Yes	Yes
	856 x 480	85	Yes	Yes

付録 B コネクタ

Intense3D Wildcat 4210 は、 AGP Pro110 スロットを持つシステム用の AGP Pro 110 カードです。

注： Intense3D Wildcat 4210 を標準 AGP スロットに挿入することはできません。

注： システムと共にこのビデオカードを購入した場合は、出荷前にカードは正しくインストール/構成されています。

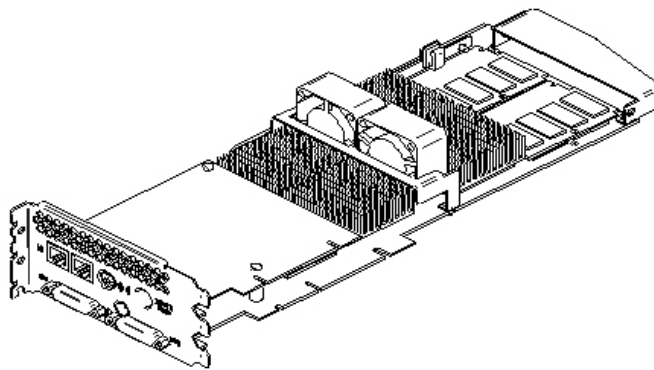


図 15. 底面図

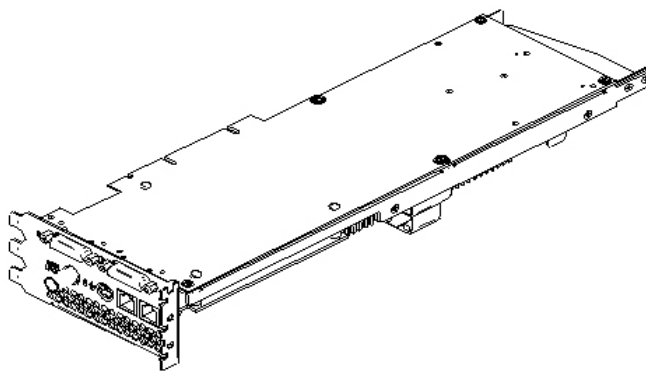


図 16. 上面図

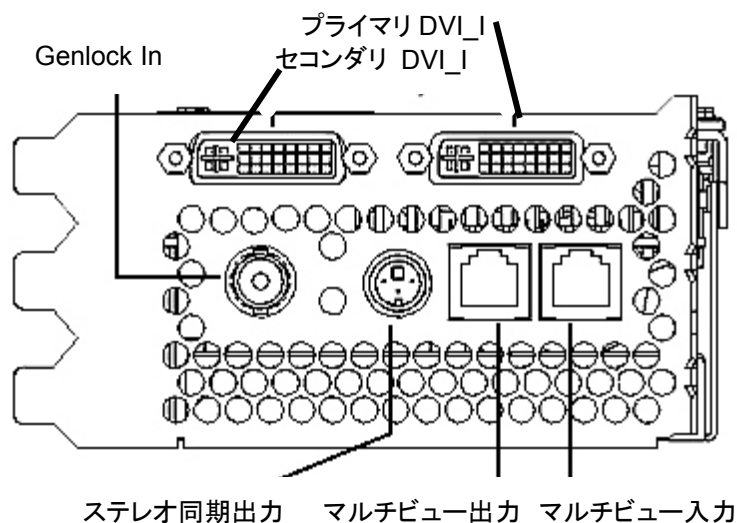


図 17. コネクタ

プライマリとセコンダリ DVI-I

プライマリとセコンダリデジタルビデオ出力ポートは、Digital Visual Interface Revision 1.0 仕様の 29 信号の DVI-I ソケットを使用します。これらのポートは、Silicon Image の SII150A PanelLink 装置を使って、112MHz までのピクセルレートをサポートします。DVI 仕様に完全対応しており、デジタル及びアナログディスプレイをサポートします。

Genlock In

BNC コネクタを使用する Genlock In は、ビデオタイミングを外部タイミングソースに同期させます。BNC コネクタは 75 Ω の雄コネクタで雌コネクタを端末に備えた 75 Ω のコークスケープルと接続する場合に使用されます。この接続は、表示システムが垂直リフレッシュレートをロックするための周期信号を提供します。

ステレオ同期出力

ステレオポート（雌、3 ピン、mini-DIN コネクタ）は、LCD シャッターガラスエミッターモジュールまたはほかのステレオシャッター装置への接続に使用します。

マルチビュー入力 とマルチビュー出力

マルチビュー入力 とマルチビュー出力ポートは、複数ワークステーションのフレームとレート
のロックするマルチビューをサポートします。マルチビュー入力 とマルチビュー出力ポートは、
シールドされた RJ12 モジュラージャックコネクタを使用しています。

索引

- VGA モード, 35
 - VGA モードで再起動, 35
 - Windows 2000 ドライバ
 - インストール, 17
 - Windows NT ドライバ
 - インストール, 15
 - Windows 2000 で多重ディスプレイによる表示, 30
 - Windows 2000 ドライバ
 - システムスタートアップバージョン, 19
 - デフォルト, 18
 - Windows NT でビデオドライバの再インストール, 37
 - Windows NT ドライバ
 - システムスタートアップバージョン, 19
 - デフォルト, 18
 - 画像, 19
 - Windows NT の[最後の正しい構成]オプション, 35
 - World Wide Web, iv
 - インストール, 7
 - Windows 2000 ドライバ, 17
 - Windows NT ドライバ, 15
 - ソフトウェア, 14
 - ドライバ, 14
 - ドライバに必要な事柄, 14
 - 資材とツール, 8
 - 手順, 9
 - 準備, 7
 - 帯電防止対策, 8
 - 必要事項, 7
 - オペレーティングシステムの情報,
 - iv
 - カスタマーサポート, iv
 - コネクタ
 - 外部, 6, 45
 - サポート, iv
 - システム
 - Windows 2000 スタートアップバージョン, 19
 - Windows NT スタートアップバージョン, 19
 - 必要事項, 7
 - ステレオスコピック表示, 26
 - ステレオ表示装置
 - 接続, 20
 - セットアップ, 7
 - ソフトウェア
 - インストール, 14
 - ディスプレイ
 - 接続, 11
 - ディスプレイチェック, 34
 - ディスプレイ設定の変更
 - 多重ディスプレイ構成, 31
 - ディスプレイ用タブ
 - 画面のプロパティ, 23
 - ドライバ
 - Windows NT で再インストール, 37
 - インストール, 14
 - トラブルシューティング, 33
 - VGA モードで再起動, 35
 - Windows 2000 を安全モードで起動, 35
 - Windows NT でビデオドライバの再インストール, 37
 - Windows NT の[最後の正しい構成]オプション, 35
 - ビデオ解像度, 35
 - ヘルプの取得, 39
 - 解決法, 33
 - 欠陥のある部分の特定, 35
 - 診断ユーティリティ, 34
 - 良くある問題点, 33
- ハードウェアの情報, iv
- はじめに, 1
- ビデオ

- 画像, 19
- ビデオカード
 - トラブルシューティング, 33
 - 仕様, 41
 - 使用, 21
- ビデオ解像度, 35
- ビデオ表示
 - 構成, 21
- ヘルプの取得, 39
- 画面のプロパティ
 - ディスプレイ用タブ, 23
 - 構成, 21
 - 構成用タブ, 21
- 外部コネクタ, 6
- 概要, iii
- 確認
 - Windows 2000 システムスタートアップバージョン, 19
 - Windows 2000 デフォルトドライバ, 18
 - Windows NT システムスタートアップバージョン, 19
 - Windows NT デフォルトドライバ, 18
- 機能, 1
- 起動
 - Windows 2000 を安全モードで, 35
- 構成
 - ビデオ表示, 21
- 構成用タブ
 - 画面のプロパティ, 21
- 最新情報の取得, iv
- 仕様, 41
- 使用
 - ビデオカード, 21
- 情報
 - オペレーティングシステム, iv
 - ハードウェア, iv
- 診断ユーティリティー, 34
- 製品情報, iv
- 接続
 - ステレオ表示装置, 20
 - ディスプレイ, 11
- 多重ディスプレイ構成
 - ディスプレイ設定の変更, 31
- 帯電防止対策, 8
- 特定
 - 欠陥のある部分, 35
- 表示
 - Windows 2000 で多重ディスプレイ, 30
 - ステレオスコピック, 26
- 文書の規則, iii
- 本書について, iii